

平成 28 年度なんたん子育てフォーラム (京都府PTA指導者研修会南丹大会)

「みんなで育もう 家庭・地域のたからである子どもたちを」
～学び合い、育ち合う、人と人とのつながりを深めよう～

平成 28 年 6 月 26 日(日)京都学園大学において、開催しました。



南丹管内の幼稚園から高等学校までのPTAや学校関係者、地域の方々、子育てに関心のある方等 300 名を超える参加者がありました。参加者の皆様から多くの感想をいただいたので、紹介します。

オープニング

京都府立北桑田高等学校吹奏楽部

感想



- ・一生懸命に取り組む姿にも素晴らしい演奏にも感動しました。
- ・北桑田高校吹奏楽部の皆さんの演奏を聴いて、自分の子どもが大きくなった時、たくさんの好きな事や夢中になれる事が見つけられるといいなと思いました。



大会宣言



南丹地区子育て支援協議会 委員紹介

子どもたちの社会的自立を見守り、「社会総がかり」で子どもたちを育てていくことなどを盛り込んだ大会宣言が採択されました。



全体会

「子どもの力を引き出すために～今からできること～」

一般社団法人ママ育協会 理事長 かがみ知加子さん



- ・「子育てを振り返るとともに、自分自身を見つめ直す機会にもなりました。」
- ・「子どもの未来や頑張りにつながる声かけをしたいと改めて感じました。」
- ・「子育てにおいて、親自身が生き生きしていることが大切だと思いました。」

A分科会

「子どもが自分らしく生きるための育て方～具体的ステップを知ろう」

一般社団法人ママ育協会 理事長 かがみ知加子さん



- ・「家庭は小さな社会であり、子どもたちはステップをふみながら、社会へ出てゆくのだと感じました。」
- ・「日常よくある場面のお話を拝聴させていただき、家族のあり方を見直しました。」
- ・「これから自分らしく生きる姿を娘に見せて行きたいなあとと思いました。」

B分科会

「親のわかい・子の思い～思春期の本音～」

福幸塾 塾長 福田幸志郎さん 塾生のみなさん



- 「活発な意見交換で大変よかったです。」
- 「高校生、大学生の話が聞けて本当によかった。」
- 「自分の子どもと同じ歳の子の気持ちがわかってよかったです。」
- 「自分の親子関係を客観的にみることができた。自分自身の夢や目標を意識することができた。」

「絵本を通して心豊かに！」

綾部市図書館 館長 生駒彩子さん

おはなしのへや“たんぽぽ”のみなさん



C分科会



- 「楽しくて時間が足りないくらいでした。絵本の楽しさを子どもに伝えたいです。」
- 「本の出会い、本の楽しさをもっと子どもたちに伝えたい。」
- 「ブックトークは初めてでしたが、どんどん引き込まれ、続きを読みたくなる本ばかりでした。ちょっとの手引きで子どもたちも本に興味をわくので、とてもいい体験をさせていただきました。」

「親子で楽しめる体づくり～楽しく体幹と体のバランスをきたえよう～」

京都学園大学 教授 吉中康子さん

D分科会

- 「簡単な運動なのに、手と足がついていなくて思ったより大変でした。汗もかくほど体を動かしてとても楽しかったです。」
- 「普段、動かさないような動作をたくさんできて楽しかったです。次の動きを考えながらだったので、頭にもすごく良かったと思います。」
- 「楽しく体を動かすことができました。吉中先生の動作を見ながら、他の皆様と一緒に楽しく和みながらできて良かったです。」



「PTA実践発表～できることから始めよう～」

京丹波町立須知幼稚園PTA会長 山崎裕二さん

亀岡市立南桑中学校PTA会長 中藪裕介さん

子どもたちを薬物から守るために「薬物乱用根絶の取組について」

京都府健康福祉部薬務課 課長 半井達弥さん

E分科会



- 「須知幼稚園PTAさんは、PTA活動を通じて保護者、地域のつながりが強まっているのが素晴らしいと思いました。南桑中学校PTAさんも子どもたちとの交流を積極的に活動に取り入れることでたくさんの保護者の共感と活動参加につながっている様子で非常に素晴らしいと思います。」
- 「PTAの課題について、交流により教えていただきました。保護者の代表という思いと合わせて楽しみながら活動できるよう工夫していきたいと思います。」
- 「薬物に関しては、身近に迫ってくる場合もあるので小さなうちから教えていきたいと思います。」